

# 米山隆一さん 当選おめでとう

「まともな政治に」いま変える！明日が変わる！



総選挙、新潟県第5区では市民と野党の統一候補、無所属の米山隆一さんが当選しました。遠藤れい子県議、総選挙では新潟県内の野党共闘で頑張りました。市民と野党の統一候補米山隆一さんの当選は本当に良かった。新型コロナウイルス対応で菅首相は『自宅療養を基本とする』方針を掲げ、医療にかかれずに苦し

みなながら、大勢の方が亡くなりました。国民皆保険制度を乱暴に踏みじり、国民のいのちを軽視する菅自公政権は許せません。国民の批判の高まりに菅首相は政権を投げ出し、岸田文雄氏が首相になりました。

**野党共闘 新潟県内4勝！**  
5年前の参議院選から新潟県の野党は市民とともに共闘を積み上げてきました。地域の中で、住民の皆さんの要求をしっかりと受け止め、各党がリスベクトしてそれぞれがしっかりと活動



総選挙で街頭から訴える遠藤れい子県議

し、4勝の結果を生み出しました。

**4区(栃尾、中之島)**では、前回支援し合った2人が自民と野党共闘候補とに分かれませんでした。野党統一の力が発揮され菊田まき子さんが当選しました。

**長岡市は3つの選挙区に分かれています、それぞれで大奮闘**  
2区(寺泊、三島、越路、小国、和島、与板)では、「たいらあやこ」さんを国会へ送る会などが結成され、他党の皆さんと力を合わせて大奮闘。33,399票と前回の3.3倍の得票を獲得しました。

**比例区・北陸信越ブロックで共産党は議席失う。ご期待に応えることができません。ご支援に感謝します。引き続きのご支援・ご協力をお願いします。**



9/8市民連合と野党4党は共通政策を結びました

**全国で、市民と野党は共通政策を結び、力を合わせました**

日本共産党新潟県議会議員

遠藤れい子ひまわりレポート

21年11月  
後援会  
二特別号



【部内資料】  
2021年11月21日  
長岡市神田町3-1-3  
電話32-1741 fax 32-6443

## 遠藤れい子県議 9月議会で一般質問、花角知事の姿勢を質す 県民のいのちを守る県政を！



「いのちを守る政治が大切」

10月4日、遠藤れい子県議は9月県議会で一般質問に立ち、花角知事の姿勢を質しました。

**① 新型コロナウイルス対策では**  
患者の命を守るため、県として「自宅療養者原則ゼロ」の立場を明確にし、すべての感染者を医療の目のゆき届くところに隔離・保護し、症状に応じた適切な医療を提供すべきです。

また、冬に感染第6波の襲来が懸念されるもとの臨時の医療施設の設置や、感染伝播の鎖を断つため、PCR検査を「いつ

でも、だれでも・何度でも」行えるようにするなど知事に迫りました。

**② 地域医療構想について**  
新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中急性期病床を半減させる計画は大きな問題であり、新型コロナウイルスの経験から、新型感染症の経験をふまえた計画に抜本的に見直すべきと考えます。

**③ 気候危機打開のために**  
今年3月策定した本県の温室効果ガス削減目標は政府計画にも大きく及ばない。積極的な見直しを行うべきではないか。

**④ 原発問題について**  
東電は柏崎刈羽原発の核防護対策の不備問題で規制委員会へ報告書を提出。この内容について県民に明らかにすること。

**⑤ 米価下落に対応した農業支援を**

大幅に米価が下落してデジタル化には賛成だが、稲作経営の将来に影響する。自給率向上対策など支援をすべき。

**⑥ デジタル化問題について**  
利便性向上に役立つデジタル化には賛成だが、

### 岸田政権発足「改憲」を許すな 憲法9条をまもろう！

岸田首相「新しい資本主義」「成長なくして分配なし」はアベノミクスの焼き直し  
何のことはない、9年間のアベノミクスそのものではないか。潤ったのは大企業と富裕層で、働く国民の実質賃金は22万円もダウン、しずくも落ちてこなかった。これをさらに続けると強調、許せない。

「コロナ病床を大幅に増やす」発言の裏で、20万床を超える急性期病床の削減計画を推進  
新型コロナウイルス第6波に備え病床の増設を唱えてい

憲法9条は戦争を放棄し、武器は持たない・交戦権は行使しないと定めています。

岸田首相憲法改正を公言  
コロナを理由の緊急事態条項の創設は、私権制限に道開き、やがては9条「改正」への危険な道。  
平和憲法を守る運動を広げ、9条を守りましょう。